

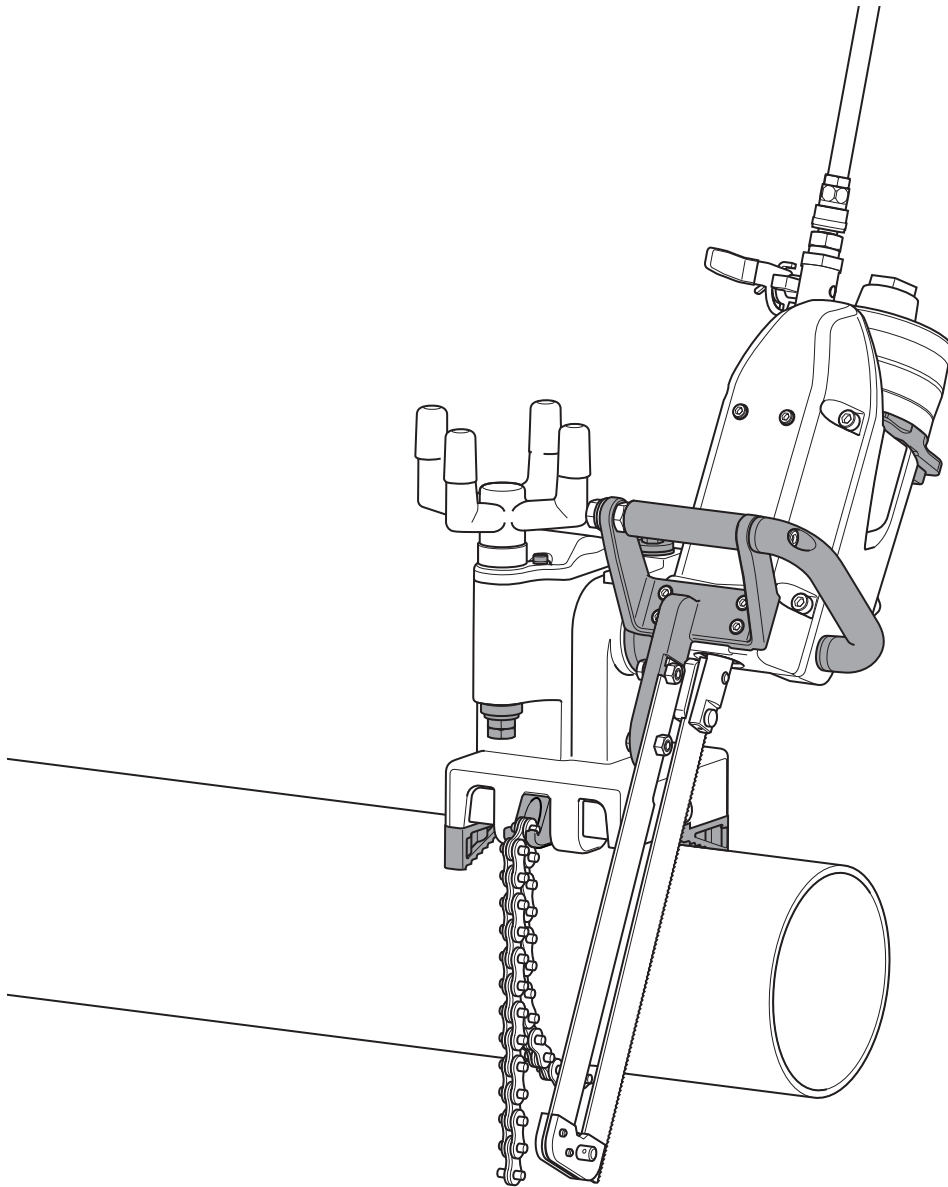
# Asada

環境を守る親切ツール

エアモータ式既設管切断機

# パイプソー 400SA

## 取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

# パイプソー 400SA




## 安全にご使用いただくために

このたびは、パイプソー 400SA をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
  - ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
  - 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
  - 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。
  - 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。  
本機は、鋼管・ダクタイル鋳鉄管、ステンレス管・樹脂管などの既設配管などを切断するための機械です。
  - 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
    - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
    - ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
    - ・ 付属品等に不足はないか。
- 万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。  
(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

## 警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類されます。

- |   |  |
|---|--|
|  | 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。                       |
|  | 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。                      |
|  | 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。 |

## 目次

安全上のご注意 .....	2	使用方法 .....	11
使用上のご注意 .....	5	パイスの取付け .....	11
製品の構成 .....	7	本体の取付け .....	13
各部の名称 .....	7	のこ刃の取付け .....	13
仕様 .....	8	ガイドプレートの取付け .....	14
標準付属品 .....	9	エアメンテナンスユニット、エアコンプレッサの接続 .....	14
別販売品 .....	9	切断 .....	15
準備 .....	10	埋設管の切断 .....	18
運搬 .....	10	縦管の切断 .....	19
作業環境の整備・確認 .....	10	使用後の清掃 .....	20
給油 .....	10	保守・点検 .....	21
		ケースガード・ケースの分解 .....	22
		Oリングの交換 .....	23
		エアエレメントの清掃 .....	23
		組立 .....	24
		修理・サービスを依頼される前に .....	25

# PIPE SAW 400SA

## 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みにになった後は、必要なときにすぐに取り出して読めるよう大切に保管してください。

### 警告

- ◆ **作業場での周囲状況も考慮してください。**  
雨中・湿った場所・濡れた場所・機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。
- ◆ **保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。**  
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ◆ **加工するものを取扱説明書に記載されている方法でしっかりと固定してください。**  
固定が不十分な場合は、事故やけがの原因になります。
- ◆ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**  
取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になります。
- ◆ **完全な停止を確認するまで、刃物や回転部には絶対に触れないでください。**  
運転中はもちろん、本機のボールバルブを閉じても少しの間、刃物類は慣性で動きますので動いている間は絶対に刃物や回転部に触れないでください。  
刃物の交換等で刃物や回転部に触れる場合は、本機のボールバルブを閉じ、エアコンプレッサを停止させて作業を行ってください。思わぬけがの原因になります。
- ◆ **次の場合は、本機のボールバルブを閉じ、エアコンプレッサを停止させたうえで、本機からエアホースを取り外してください。**
  - ・ 使用しない、または部品の交換・修理・掃除・点検をする場合
  - ・ 刃物などの付属品を交換する場合
  - ・ その他危険が予想される場合（停電の際も含まれます）エアホースが接続されたままだと、不意に本機が作動してけがの原因になります。
- ◆ **異常を感じたらすぐに運転を中止してください。**  
運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動・異常音などに気が付いた場合は直ちに機械の運転を中止し、取扱説明書の P25『修理・サービスを依頼される前に』の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示に従ってください。そのまま使用すると、発熱・発煙・発火の恐れがあり、事故やけがの原因となります。
- ◆ **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
作業台・作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。  
ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。
- ◆ **作業関係者以外は近づけないでください。**  
作業員以外、本機やエアホースに触れたり機械の操作をさせないでください。  
作業員以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。  
事故やけがの原因になります。

# パイプソー 400SA

## ⚠ 警告

### ◆ 無理して使用しないでください。

使用用途以外には使わないでください。

安全に能率よく作業するために、本機的能力に合った作業をしてください。

無理な作業は製品の損傷を招くばかりでなく、事故の原因となります。

モータがロックするような無理な使い方はしないでください。モータが破損する恐れがあります。

### ◆ きちんとした服装で作業してください。

ネクタイ・そで口の開いた服・網手袋・たぶたぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。

長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。作業環境により、保安帽・安全靴などを着用してください。

### ◆ 無理な姿勢で作業をしないでください。

常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

転倒してけがの原因になります。

### ◆ レンチなどの工具類は、必ず取外してください。

ボールバルブを開く前に、点検・調節に用いた工具類が取外してあることを確認してください。

付けたままで作動させると、事故やけがの原因になります。

### ◆ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。

注意を怠ると事故やケガの原因となります。

疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。

事故やケガの原因となります。

### ◆ エアホースは乱暴に扱わないでください。

エアホースを持って本機を運んだり、エアホースを引っ張って本機、エアメンテナンスユニット、エアコンプレッサから引き抜いたりしないでください。

エアホースを高熱・油脂類・刃物類・角のとがった所に近づけないでください。

エアホースが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配置する場所に注意してください。

### ◆ 日ごろから注意深く手入れをしてください。

安全に能率よく作業していただくために、刃物類はいつも良い切れ味の状態でお使いください。

刃物が用途に合っていなかったり、磨耗したり、損傷した状態で使用すると、モータや本機に負担がかかり発熱・発煙・発火の恐れがあるほか、けがの原因にもなります。

付属品や刃物の交換は、取扱説明書に従ってください。

握り部は常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

滑って、けがの原因になります。

# PIPE SAW 400SA

## 警告

### ◆ 損傷した部品がないか点検してください。

使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の損傷、取り付け状態、その他、運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。

本機のボールバルブで始動および停止操作のできない機械は使用しないでください。

破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。

### ◆ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

### ◆ 機械の分解・修理は、専門店で依頼してください。

弊社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、けがの原因になります。

### ◆ 機械等についているラベルが取れた場合は、必ず請求して新しいものをつけてください。

# パイプソー 400SA

## 使用上のご注意

- 先に一般的な注意事項を述べましたが、パイプソー 400SA をご使用するにあたって、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### 危険

- ◆ **生ガス・残留ガスのあるパイプは切断しないでください。**  
モータからの火花や切削熱により、引火・爆発の原因になります。

### 警告

- ◆ **作業する箇所に電線管・水道管・ガス管などの埋設物がないことを作業前に十分注意して確認してください。**  
埋設物があると、のこ刃が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ◆ **残水パイプを切断する場合は、本機に水がかからないようにしてください。**  
ギヤボックス内に水が入り、ギヤが破損します。
- ◆ **使用中は、本機を確実に保持してください。**  
確実に保持していないと、思わぬけがの原因になります。
- ◆ **誤って落としたり、ぶつけた時は、のこ刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**  
のこ刃や本機に破損や亀裂・変形があると、事故やけがの原因になります。
- ◆ **のこ刃の交換時は、必ず本機のボールバルブを閉じ、エアコンプレッサを停止させてください。**  
急に動きだしたりし、けがの原因になります。
- ◆ **のこ刃を正しく本機に取付けてください。**  
のこ刃が外れ、けがの原因になります。
- ◆ **のこ刃で、エアホースなどを切断しないように注意してください。**  
急にエアホースよりエアが出てけがの原因になります。
- ◆ **使用中は、のこ刃や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。**  
のこ刃に巻き込まれて、事故やけがの原因になります。
- ◆ **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**  
また、エアホースを引っかけたりしないでください。  
材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。

# PIPE SAW 400SA

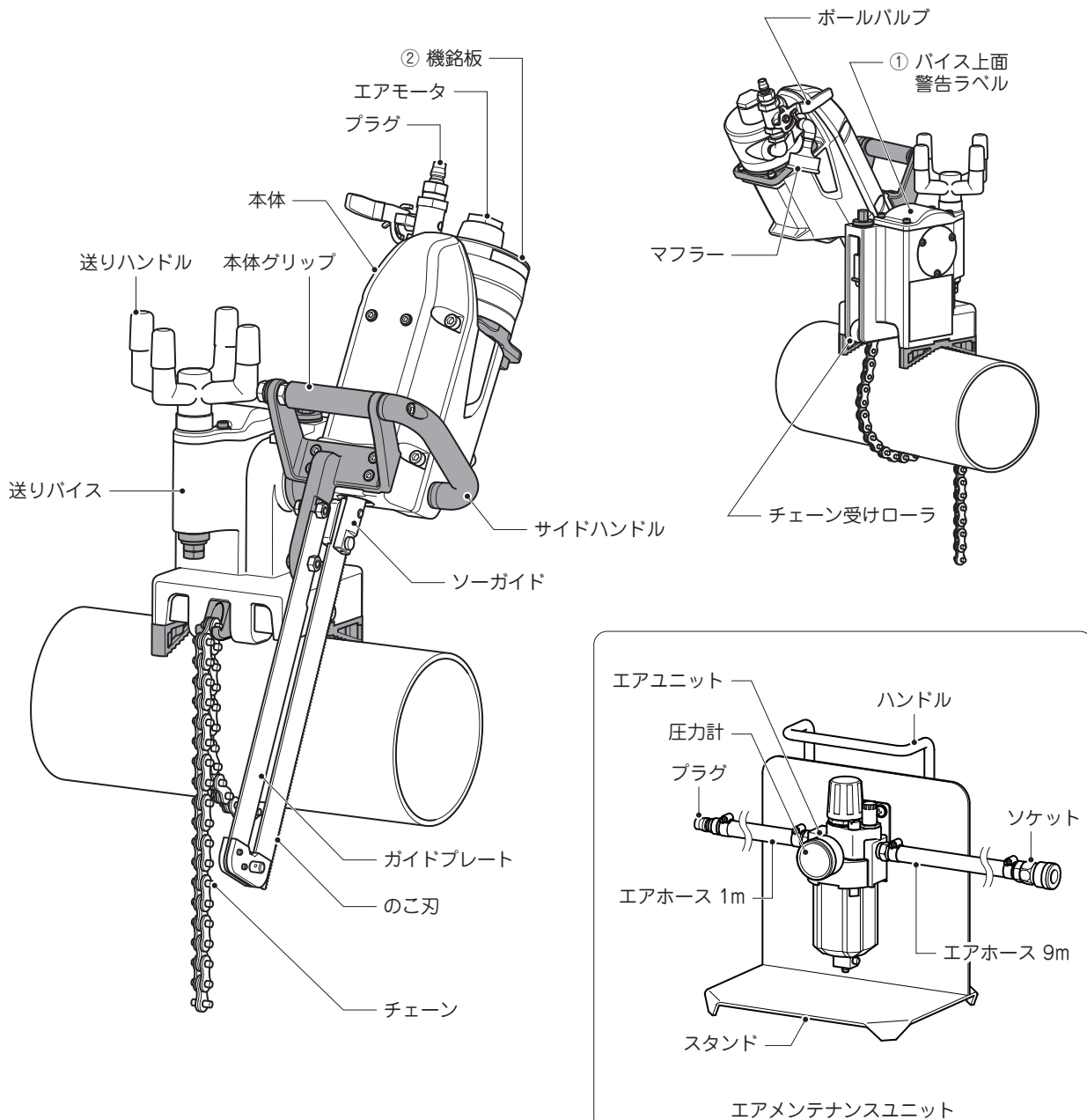
## ⚠ 注意

- ◆ **移動させるときは、必ず本機のボールバルブを閉じ、エアコンプレッサを停止させてください。**  
のこ刃が急に動き出し、事故やけがの原因になります。
- ◆ **切断直後の本機・のこ刃・切り屑、または切断材料に手を触れないでください。**  
切断作業直後は、高温になっていますので、火傷やけがの原因になります。
- ◆ **壁や隣接するパイプなどの障害物の近くで切断する場合は、のこ刃先端が障害物に当たらないように距離をあけてください。**  
本機やのこ刃を破損する恐れがあります。
- ◆ **のこ刃で、エアホースなどを切断しないように注意してください。**  
エア漏れが発生し、能力を発揮できなくなります。
- ◆ **能力以上の材料は切断しないでください。**  
切断能力以上の材料を切断すると、のこ刃が折損します。
- ◆ **のこ刃は、純正品を使用してください。**  
純正品以外ののこ刃では、思わぬ事故を招く恐れがあります。
- ◆ **十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。**  
特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
- ◆ **アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。**  
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

# パイプソー 400SA

## 製品の構成

### 各部の名称



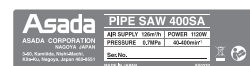
### 警告ラベル

※ 本機には警告ラベルが貼付してあります。  
 安全確保のための説明が書かれていますのできれいに保ち、はがれたり、見づらくなった場合は、弊社へ請求してください。  
 そして必ず同じ場所に貼り直してください。

#### ① バイス上面警告ラベル



#### ② 機銘板





# PIPE SAW 400SA

## 仕 様

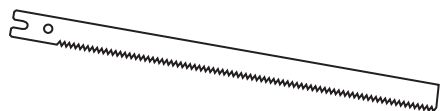
品 名	パイプソー400SA	
コードNo.	PS400SA	
切断能力	鋼管	50A~400A (厚さ9mmまで)
	ステンレス管	50A~300A (厚さ9mmまで)
モータ	エアモータ 1120W	
エア消費量	2m <sup>3</sup> /min	
ストローク長	57mm	
無負荷ストローク数	40~400回/分	
質量・大きさ	本 体	13kg・480×302×252mm
	送りバイス	8kg・173×210×326mm
	収納ケース1	3.5kg・785×370×325mm
	収納ケース2	1.8kg・420×375×330mm
総質量 (梱包状態)	収納ケース1	30.5kg・800×380×360mm
	収納ケース2	9kg・440×400×365mm

品 名	エアメンテナンスユニット
コードNo.	PS570
使用流体	空気
最高使用圧力	1.0MPa
耐圧力	1.5MPa
設定圧力範囲	0.05~0.83MPa
周囲温度範囲	5~60℃
フィルタエレメントろ過粗さ	5μ
有効断面積	30mm <sup>2</sup>
貯油量	50cc
推奨潤滑油	タービン油1種 (ISO-VG32)
質量	5.6kg

※品質向上のため、仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

# パイプソー 400SA

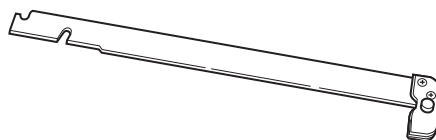
## 標準付属品



各種のご刃バイメタル

(380×8山) 1本

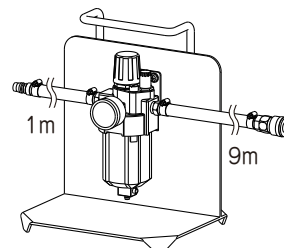
(490×8山) 1本



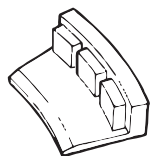
各種ガイドプレート組

(300A) 1本

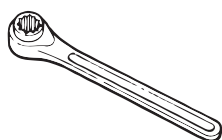
(200A) 1本



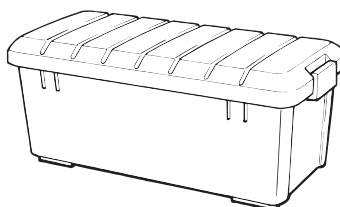
エアメンテナンスユニット  
(PS570)



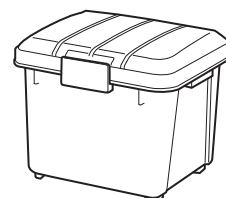
マグネット付クサビL  
(58612)



ラチェットレンチ 13  
(PS313)



収納ケース  
(PS510)



エアメンテナンス組収納箱  
(PS565)

## 別販売品

品名	サイズ	切断能力	コードNo.	単位	用途
のご刃バイメタル	320×8山	～150A	71117	5本	ステンレス管 鋳鉄管・鋼管
	380×8山	～200A	71118	5本	
	440×8山	～250A	71119	5本	
	490×8山	～300A	71120	5本	鋳鉄管・鋼管
	530×8山	～350A	71121※	5本	
	600×8山	～400A	71122※	5本	
のご刃グリットソー	320	～150A	70288	5本	水道用モルタル ライニング鋳鉄管
	380	～200A	70289	5本	
	430	～250A	70260	5本	
	480	～300A	70261	5本	
	530	～350A	70262	5本	
ガイドプレート組	(200A)	—	PS301	1組	—
	(250A)	—	PS261	1組	
	(300A)	—	PS262	1組	
	(350A)	—	PS263	1組	
	(400A)	—	PS554	1組	
圧力計	—	—	PS572	1個	エアユニット用
切削油 (ねじ切オイル白)	—	—	ST014	1本	鉄・ステン管用

※コードNo. 71121、71122は、ステンレス管に使用できません。

# PIPE SAW 400SA

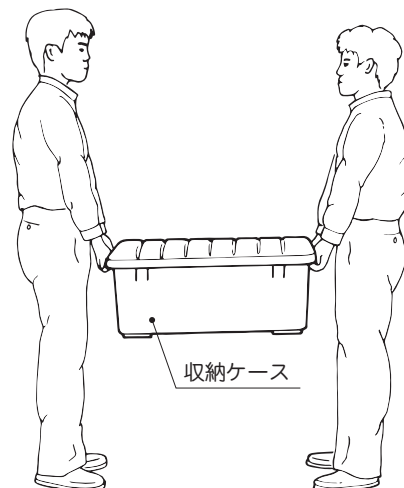
## 準備

### 運搬

- 運搬時は収納ケースに入れて運搬してください。

#### ⚠ 注意

- ◆ 本機は重量物（バイス 8kg、本体 13kg）ですので、運搬は必ず二人で行ってください。持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。無理に持ち上げると腰を痛めます。
- ◆ 運搬時は、必ずのこ刃を取り外してください。不意にのこ刃があたり、けがをします。



### 作業環境の整備・確認

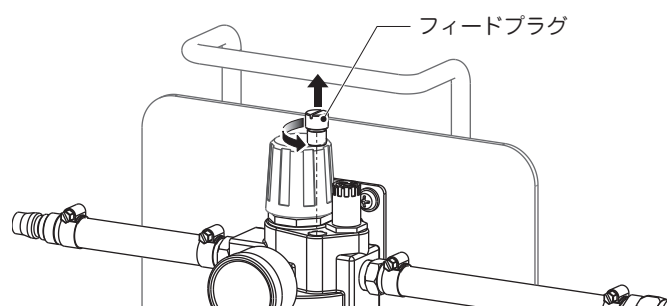
- 作業する場所が『安全上のご注意』と『使用上のご注意』の注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

#### 騒音防止規制について

- ◎ 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じて、遮音壁を設けて作業してください。

### 給油

- 油の給油は、エアユニット本体にあるフィードプラグのねじを外して行います。給油後は、フィードプラグのねじを締めてください。



#### ⚠ 注意

- ◆ 潤滑油は、必ずタービン油一種（ISO-VG32 相当品）を用いてください。スピンドル油やマシン油はパッキンを膨潤させ、故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。また、混合油やその他の溶剤が混入していると思われる油や廃油などは、スラッジ、発錆、腐食、シール材の変質の原因になりますから用いないでください。

# パイプソー 400SA

## 使用方法

- ご使用される前に必ず『安全上のご注意』と『使用上のご注意』の注意事項（P2～P6）をお読みください。

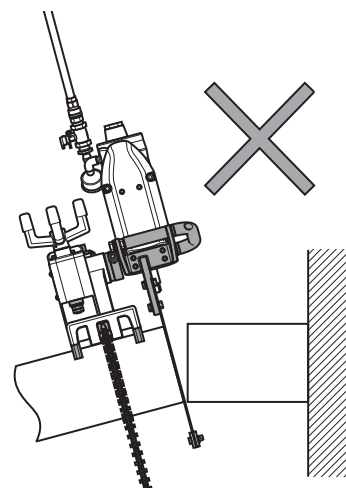
### ⚠ 警告

- ◆ **本機のボールバルブが閉じていることを確認し、エアホースを接続してください。**  
ボールバルブが開いた状態で本機にエアホースを接続すると、急に機械が動き出し思わぬ事故につながります。  
事故やけがの原因になります。

## バイスの取付け

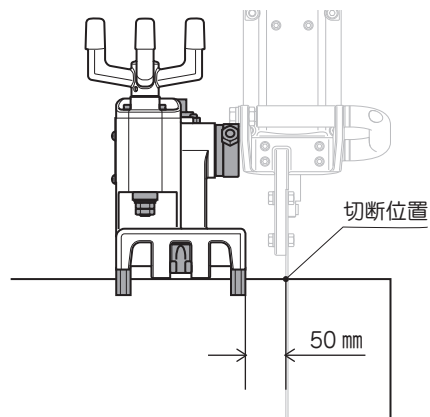
### ⚠ 警告

- ◆ **切削油で汚れたバイスおよび本体は滑りやすいので、切削油をよく拭き取り、持ち上げてください。**  
足の上にバイスを落とし、けがをします。
- ◆ **バイスを取り付けるときは、管（既設配管）の保持力を確認してください。**  
また、老朽化した管には取り付けないでください。  
管（既設配管）に保持力がないと、バイスおよび本機を取り付けたときに、管ごと落下し、けがをします。
- ◆ **本機は重量物です。高所に取りつける際は十分注意してください。**  
思わぬ事故の原因となります。
- ◆ **バイスは『切り落とし側』に取付けないでください。**  
管切断後にバイスごと落下し危険です。（右図）
- ◆ **バイスはしっかり固定してください。**  
バイスの固定力がゆるいとバイスや本機が落下したり、切断中にご刃が折損する恐れがあります。
- ◆ **バイスを固定するときや下へ降ろすときに手（指）の位置に注意してください。**  
手（指）をはさみ、けがをします。

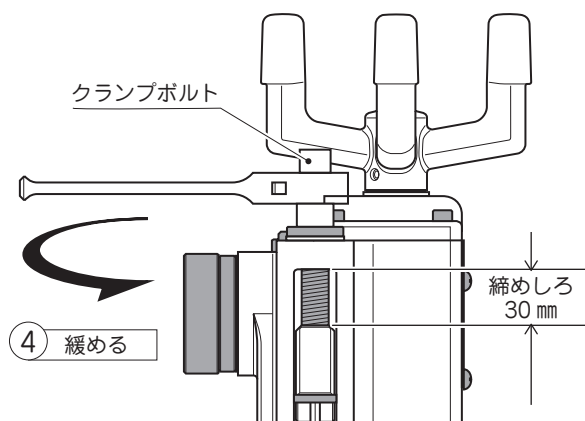


# PIPE SAW 400SA

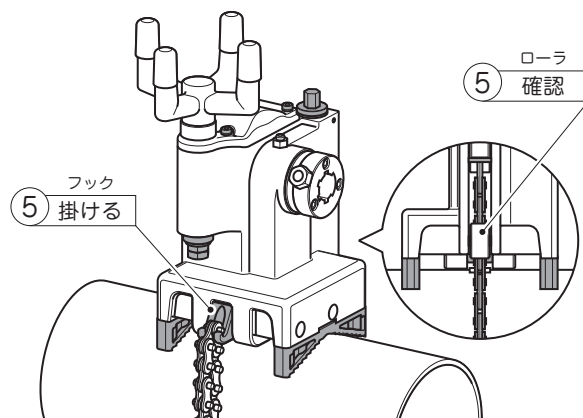
- ① 切断する位置を管にマーキングしておきます。
- ② 管およびバイス爪に付着した異物・汚れをきれいに落とします。異物が残ったままバイスを固定すると切断中にバイスが緩む恐れがあります。またはパイプを真っ直ぐに切断できません。
- ③ バイスを管にのせます。このとき、切断位置より50mm手前にバイス側面が来るようにします。



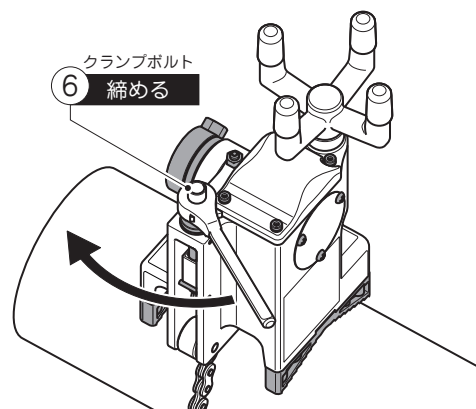
- ④ ラチェットレンチを使用してクランプボルトをいっぱいまで緩めます。  
クランプボルトを緩めておかないと締め代がないので、しっかり固定できません。(締めしろは30mm)



- ⑤ フックにチェーンを掛けます。  
このときチェーンがチェーン受けローラの内側を通っているか確認してください。  
また、チェーンが斜めに巻きついていないか確認してください。



- ⑥ ラチェットレンチを使用してクランプボルトを回し、チェーンを締め上げます。(245 ~ 294N)
- ⑦ 余ったチェーンは、のこ刃の軌道上にこないようにしてください。



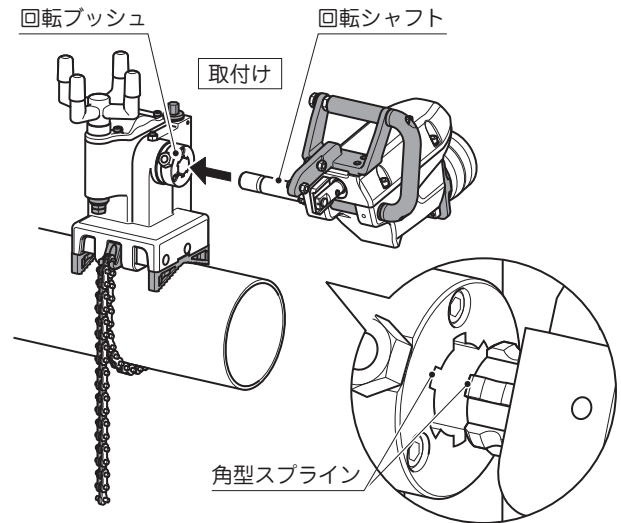
# パイプソー 400SA

## 本体の取付け

- ① 本体からエアホースは取り外しておきます。
- ② 本体の回転シャフトおよびバイスの回転ブッシュに異物がないか確認します。異物がある場合は取り除いてください。
- ③ 両手で本体グリップとエアモータをしっかりと持ち、本体をバイスに取付けます。

本体の回転シャフトをバイスの回転ブッシュに差し込みます。

このとき互いの角型スプラインを任意の角度に合わせ、奥に突き当たるまで本体を差しこみます。

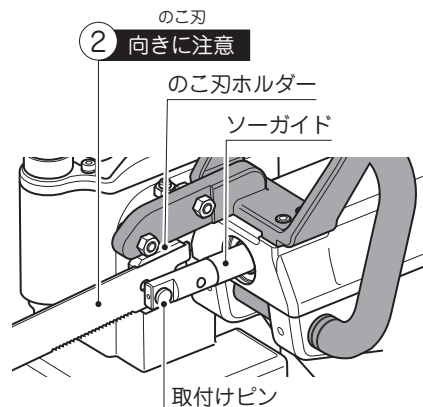


## のこ刃の取付け

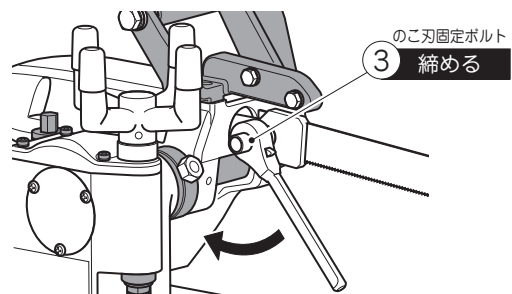
### ⚠ 注意

- ◆ のこ刃は、管径にあったサイズのものを使用してください。  
のこ刃の切断能力以上の太い管を切断すると、のこ刃先端が管内壁に当たり、のこ刃を折損します。
- ◆ 刃欠け・磨耗・損傷などのある、のこ刃は使用しないでください。  
切断面の抵抗が大きくなり負荷がかかるため、故障の原因になります。
- ◆ のこ刃を確実に締め付けてください。  
締め付けがゆるいと、切断中にのこ刃が外れたり、本体やのこ刃が損傷します。  
また、事故の原因ともなります。

- ① 切断するパイプのサイズ・材質に合った、のこ刃を選択します。
- ② のこ刃を『のこ刃ホルダー』と『ソーガイド』の間に差し込み、『のこ刃固定ボルト』と『取付けピン』に掛けます。(のこ刃の向きに注意)



- ③ 『のこ刃固定ボルト』(平ワッシャ付) を付属のラチェットレンチで締め付けます。



# PIPE SAW 400SA

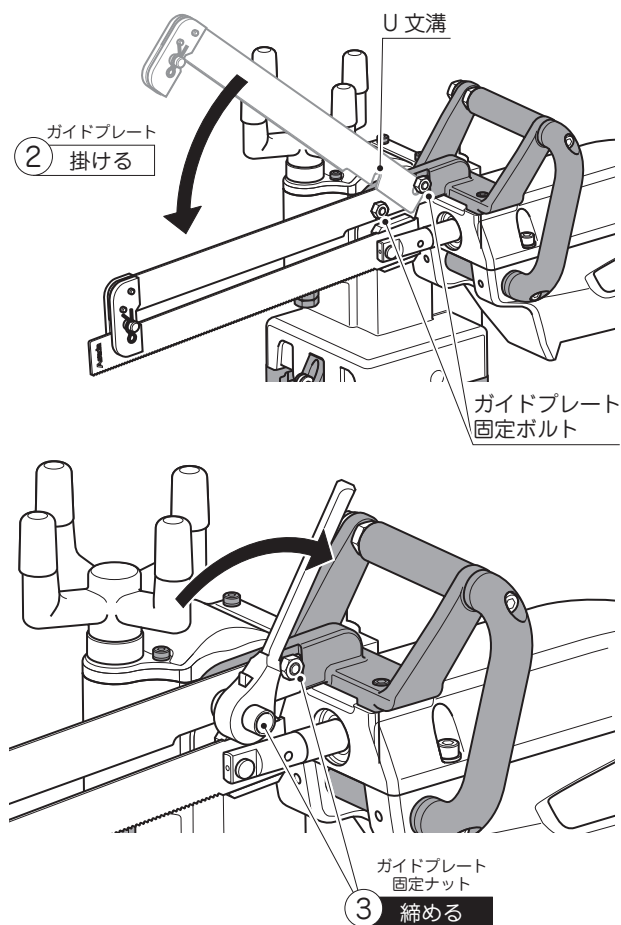
## ガイドプレートの取付け

① のこ刃のサイズに合った、ガイドプレートを選択します。

② 『ガイドプレート固定ボルト』（2箇所）に『ガイドプレート』のU字溝を掛けます。

このとき、のこ刃の背が『ガイド』のすき間に通っていることを確認してください。

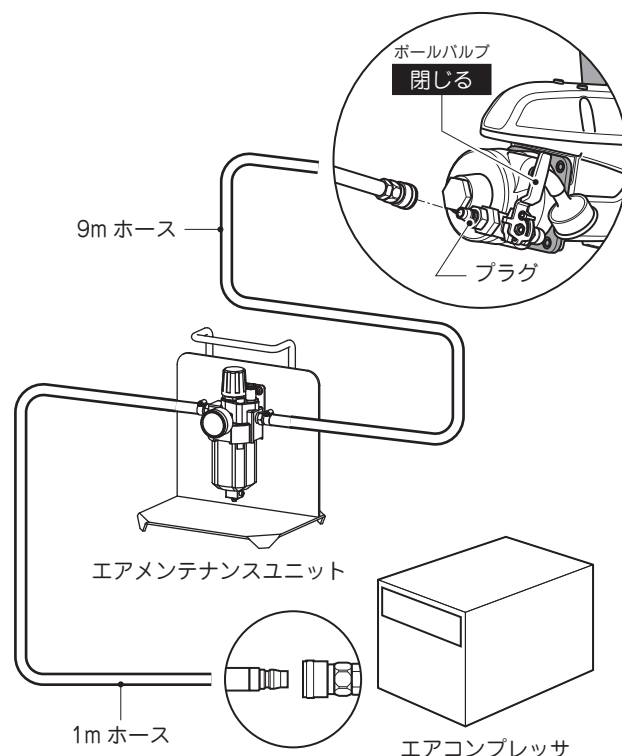
③ 『ガイドプレート固定ボルト』（2箇所）を付属のラチェットレンチで固定します。



## エアメンテナンスユニット、エアコンプレッサの接続

① 本機のボールバルブを閉じ、本機のプラグとエアメンテナンスユニットのソケットを接続します。

② エアメンテナンスユニットのプラグとエアコンプレッサのソケットを接続します。



### ⚠ 注意

◆ エアホースの延長は 10 m を超えないでください。

◆ 延長するエアホースは、内径 9mm 以上を使用してください。

上記条件を満たさないとエア流量が確保できなくなり、適正な能力が出なくなります。

# パイプソー 400SA

## 切 断

### ⚠ 注意

◆モルタルライニング鑄鉄管を切断するときは、粉じんがでますので、必ず防じんマスクを着用してください。

粉じんを吸い込み、健康を害します。

◆切断中に、のこ刃が停止するような無理な使い方はしないでください。

モータに無理がかかり、損傷する恐れがあります。

- ① 本機のボールバルブが閉じていることを確認し、エアコンプレッサを始動させます。
- ② のこ刃が管から少し離れていることを確認します。(10mmくらい)

### ③ エア圧力調整

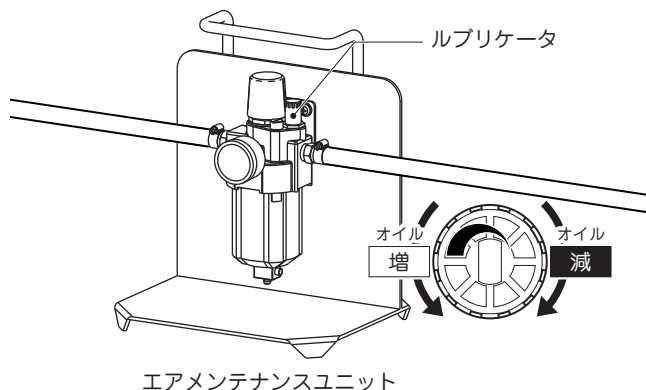
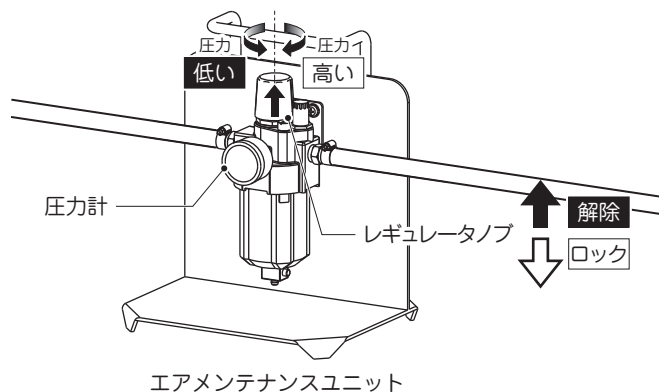
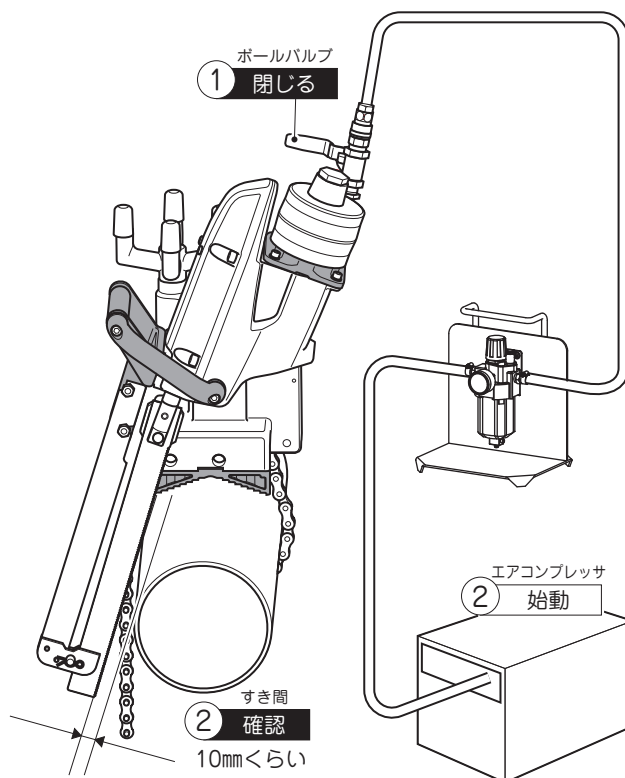
- レギュレータノブを上にあげてロックを解除します。
- レギュレータノブを回して、エア圧力を 0.5 ~ 0.7MPa に調整します。ステンレス管、樹脂管を切断する場合は、エア圧力を 0.5MPa に調整します。ノブは、右に回すとエア圧力が高くなり、左に回すと低くなります。
- 調整が終了しましたら、レギュレータノブを下にさげてロックします。

### ④ オイル量調整

ルブリケーターのねじを回し、油の滴下が毎分 4 滴程度となるように調整してください。

ねじを右に回すと滴下量が減り、左に回すと増えます。

ルブリケーターの油量が下限になった場合は、タービン油一種 (ISO-VG32 相当品)、または 90 タービン油 (旧通称名) を補充してください。

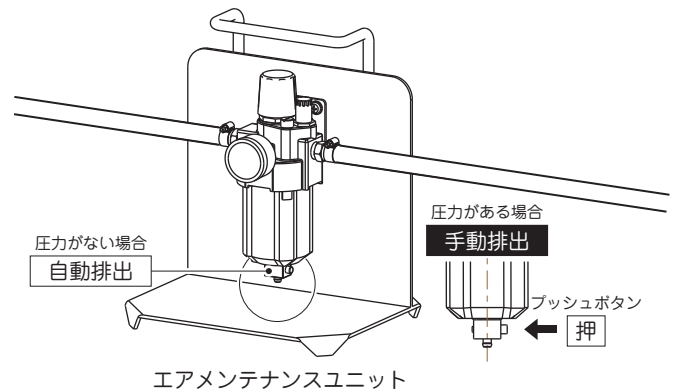




# PIPE SAW 400SA

- ⑤ 本機のエアフィルタは、ホースに圧力がない時はドレンバルブ内のスプリングの作用により自動排出します。ホースに圧力がある時はドレンバルブ操作で排出します。

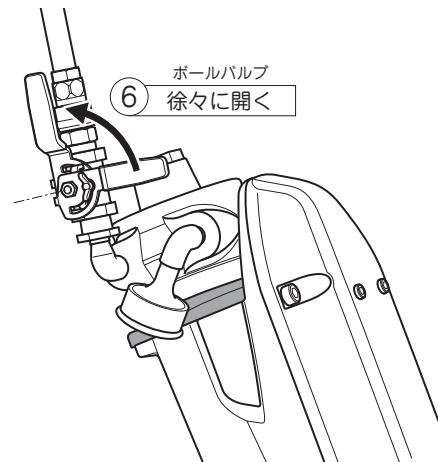
手で水を排出するには、ドレンバルブのプッシュボタンを水平にゆっくり押し、水を抜いてください。水を抜いた後は、プッシュボタンを元に戻してください。



## ⚠ 注意

- ◆ ドレンは、注意銘板に示されたドレンレベルに達するまでに排出してください。  
ドレンレベル (DRAIN LIMIT) 以上に水が蓄積すると、ドレンのライン内流出、除湿機能の低下などの原因となります。

- ⑥ 本機のボールバルブを徐々に開き、始動させます。



	パイプの厚み	ボールバルブ	のこ刃
鋼管(SGP・STPG)	9mm以下	全開	バイメタル
ダクタイル鋳鉄管 (ガス用・内面樹脂皮膜)	7.5mm以下	全開	
ダクタイル鋳鉄管 モルタルライニング(水道用)	厚み関係なし	全開	グリットソー
ステンレス管	9mm以下	15~30°	バイメタル
樹脂管	20mm以下	15~30°	

# パイプソー 400SA

⑦ 送りハンドルを反時計方向に回し、ゆっくりと切断していきます。ハンドルの送り加減は、ストローク速度が落ちない程度の力で回してください。

※ 切断中、モータに負荷がかかりすぎると、モータが停止します。モータが停止しましたら、ハンドルを時計方向に回して切断速度を上げてください。

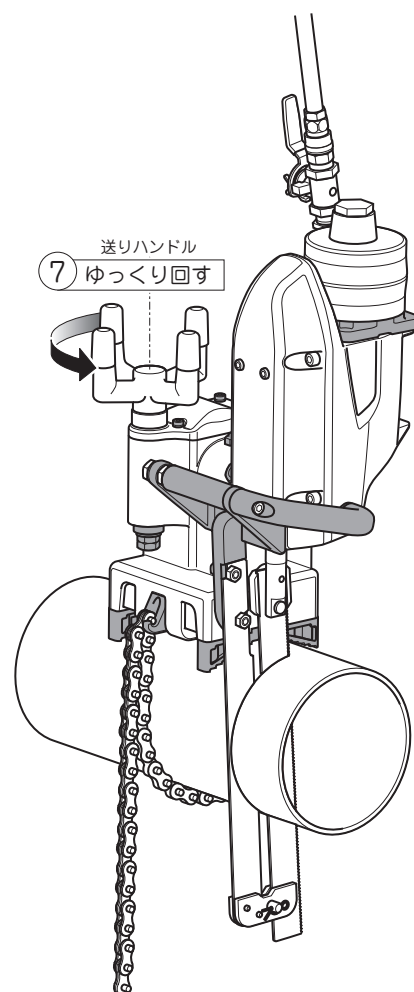
⑧ 管の材質によって切削油を使用します。

管の種類	切削油の使用
鉄管	使用する
ステンレス管	
ダクタイル鋳鉄管	使用しない
モルタルライニング鋳鉄管	
樹脂管	

⑨ 150A 以下の配管を切断する場合は、200A のこ刃、200A ガイドプレートを使用して切断すると斜断が少なくなります。

## [情報]

※ 本機のエアモータは使用条件によっては油がにじみ出ることがあります。  
給油式エアモータの特性上、問題ありません。



## ⚠ 注意

- ◆ 切削油は、必ずねじ切りオイル白 (No.ST014) を使用してください。  
この刃のすべり、異常磨耗が発生する恐れがあります。
- ◆ 保護手袋を着用してください。  
切削油が皮膚に触れると炎症を起こす恐れがあります。
- ◆ 切削油を使用したときは、飛び散った切削油をふき取ってください。  
切削油で足元が滑りやすくなり、転倒する恐れがあります。
- ◆ オイルミストを吸い込まないようにしてください。  
気分が悪くなります。もし吸った場合は、新鮮な空気のある場所へ移動し、安静にして医師の診断を受けてください。
- ◆ 切削油は火気に近づけないでください。  
消防法では、危険物等級Ⅲに該当します。

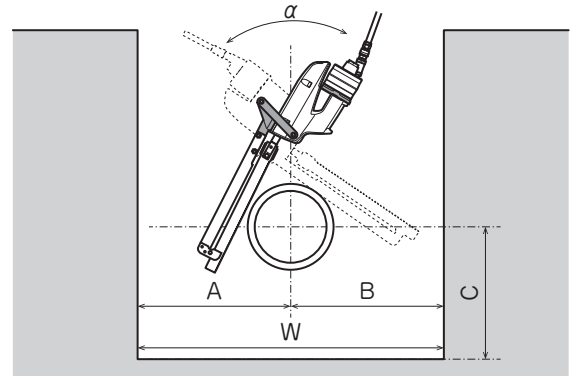
⑩ 切断が終了したら本機のボールバルブを閉じ、ハンドルを時計方向に戻し、エアコンプレッサを停止させてください。

⑪ 切断後はこの刃やガイドプレートが高温になっています。  
少し時間をおいてから、ガイドプレート→この刃→本体→バイスの順に取り外します。

# PIPE SAW 400SA

## 埋設管の切断

- ① 埋設管を切断する場合は、作業スペースを確保してください。



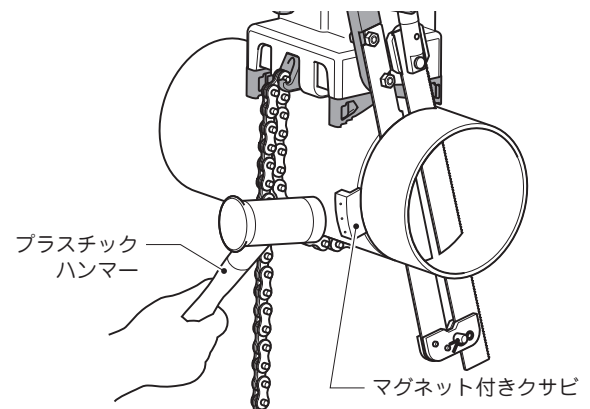
パイプサイズ	A寸法	B寸法	最小作業スペースW	C寸法	機械の作業角度
150A	210mm	215mm	425mm	200mm	57°
200A	255mm	265mm	520mm	230mm	64°
250A	300mm	320mm	620mm	260mm	68°
300A	350mm	370mm	720mm	280mm	76°
350A	390mm	420mm	810mm	300mm	83°
400A	450mm	520mm	970mm	380mm	90°

※ここに示した寸法は最低値ですので、作業スペースはできるだけ広く確保するようにしてください。

- ② 埋設管を切断する場合は、土圧の影響で切断中にのこ刃が管に挟み込まれることがあります。このときは、切断口にマグネット付きクサビを使用してください。
- ③ 土圧の影響でのこ刃が管に挟み込まれ場合は、
- ・直ちにトリガースイッチを引きます。
  - ・その後、マグネット付クサビまたはタガネ等を打ち込み、のこ刃を外します。

### ■ マグネット付きクサビの使用法

- ① 切り始め位置から、ガイドプレートの背が約 30mm 入ったところでマグネット付きクサビを打ち込みます。(管が細い場合、のこ刃の背が約 30mm 入ったところでガイドプレートを外し、マグネット付きクサビを打ち込みます)
- ② 手で押して入らないときは、プラスチックハンマー等で軽く打ち込んでください。



# パイプソー 400SA

## 縦管の切断

### ⚠ 警告

#### ◆ バイスは、必ず二人で取付け作業を行ってください。

本機は重量物（バイス 8kg、本体 13kg）です。

無理に一人で取付けようとすると、本機を落下させ、けがをします。

#### ◆ 切り落とし側が上になるように、管にバイスを取付けてください。

切断後、切り落とされたパイプと一緒に本機が落下し、けがをします。

① 管およびバイスの爪に付着した異物・汚れをきれいに落とします。

② 一人はバイスを両手で縦管に固定し、しっかり保持します。

このとき、本体がバイスの上側になるようにバイスの向きを考えます。（切断部が上側になる）

③ もう一人がバイスのチェーンを縦管に巻き、付属のラチェットレンチでクランプボルトを回し、バイスを固定します。特に縦管へ固定したときは、チェーンがたるみやすいので注意してください。

※ チェーンの巻き付けおよびクランプボルトの締め付けは、『P11 バイスの取付け』を参照してください。

④ 途中で切断すると管の自重で、のこ刃が挟まれますのでマグネット付きクサビを打ち込んでください。

⑤ 切り終わり間際に管の自重で、のこ刃を挟み込んでしまいますので、次の対策を施してください。

[対策1] マグネット付きクサビを2～3個打っておく

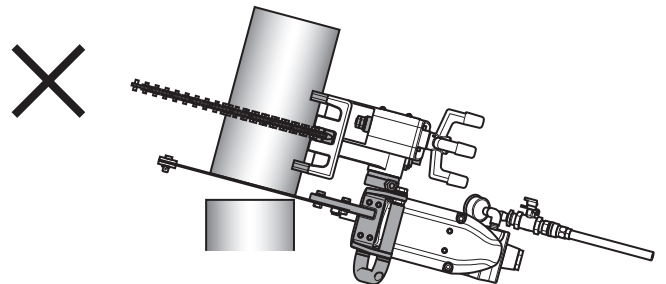
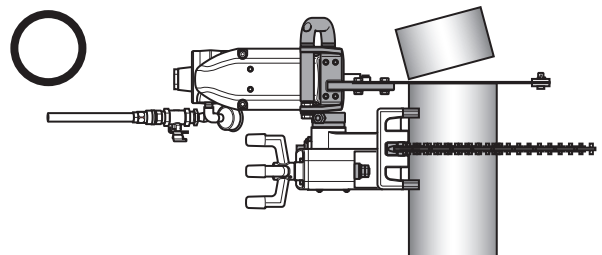
[対策2] 管をあらかじめ吊り上げておく

⑥ 『のこ刃』・『ガイドプレート』・『本機』を取り外します。

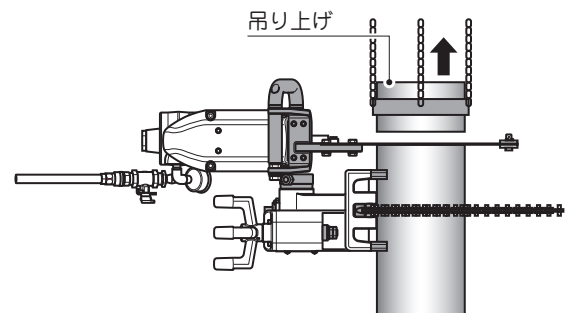
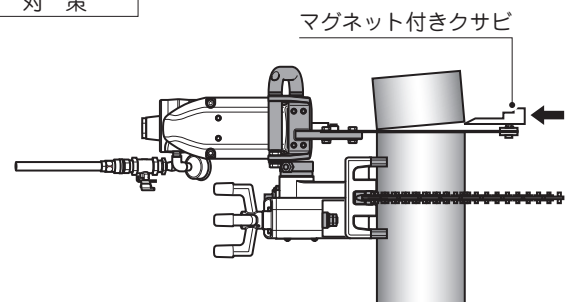
⑦ 一人はバイスを両手でしっかり保持します。

⑧ もう一人が付属のラチェットレンチでクランプボルトを回し、チェーンをゆっくり緩め、バイスを落とさないように外します。

バイスの位置



対策



# PIPE SAW 400SA

## 使用後の清掃

- 本機の上や周りに付着した切粉・土・砂・水分などをワイヤーブラシなどで拭き取ってください。  
本機や周りに飛散した切削油をウエスで拭き取ってください。

### 注意

- ◆ 切粉をエアで吹き飛ばさないでください。  
目に入り、失明することがあります。
- ◆ 切粉は鋭利ですから、素手で触らないでください。必ず保護手袋をはめてください。  
けがをする恐れがあります。

# パイプソー 400SA

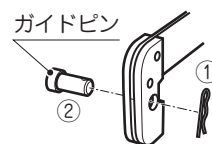
## 保守・点検

### ⚠ 警告

◆点検・お手入れの際は、必ず本機のボールバルブを閉じ、エアコンプレッサを停止させ  
たうえで、本機からエアホースを取り外してください。  
不意に起動し、思わぬ事故の原因となります。

● 以下の箇所を定期的に点検・清掃し、適時修正または交換を行ってください。

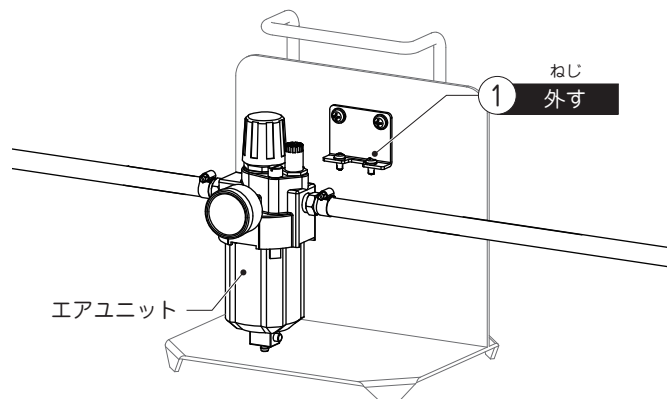
保守・点検項目	処 置
エアホースに損傷がないか確認	損傷がある場合は交換してください。
のこ刃の刃欠け・磨耗・損傷がないか確認	刃欠け・磨耗・損傷がある場合は交換してください。 のこ刃の交換方法は、P13『のこ刃の取付け』を参照してください。
ガイドピンが磨耗していないか確認	ガイドピンが磨耗してきたら、右図のように取り外して交換してください。 (No.58510 ガイドピン)
各部取付けねじが緩んでいないか確認	緩んでいる所があれば、締め直してください。
各部の注油	次の箇所は定期的に注油をしてください。 ・ソーガイド部、回転シャフトと回転ブッシュ部、送りハンドル摺動部
ソーガイド部に切粉・土・砂・水分が溜まっていないか確認	ソーガイド部に切粉・土・砂・水分が溜まったままの状態にしておくと、ソーガイド部が錆びついて故障の原因となります。必ず清掃したうえで、保管してください。
本機が汚れている場合は、汚れを拭き取る	本機の外枠は強靱なアルミと合成樹脂製ですが、ガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると表面を傷めます。清掃する場合は、乾いた布か石けん水を付けた布などで拭いてください。
安全で乾燥した場所に保管	次のような場所では保管しないでください。 ・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所 ・軒先など雨がかったり、湿気のある場所 ・温度が急変する場所 ・直射日光の当たる場所 ・ガソリンやシンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所



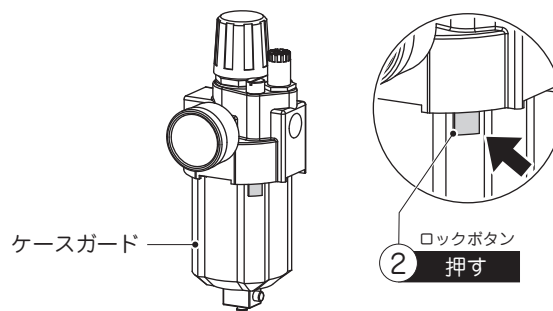
# PIPE SAW 400SA

## ケースガード・ケースの分解

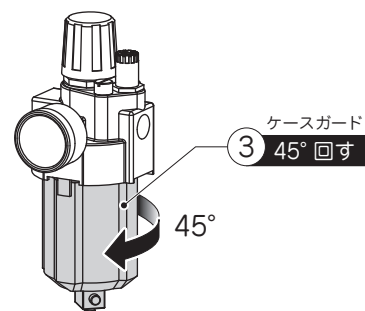
- ① スタンドからエアユニットを外します。



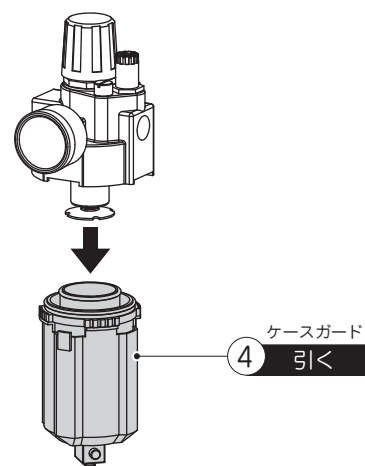
- ② ケースガードの右手前側面にある  
ロックボタンを押し、ロックを外す。



- ③ ボタンを押しながら、  
ケースガードを左に 45° 回す。



- ④ ケースガードを下に引く。  
ケースガード及びケースが外れます。

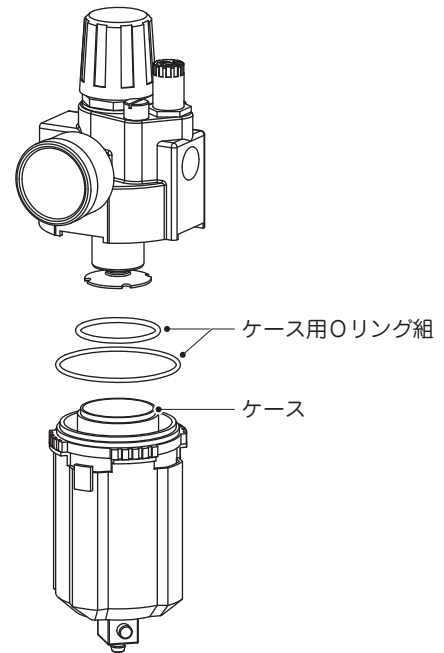


# パイプソー 400SA

## Oリングの交換

- 経年変化により変形したり、老化したOリングは新品と交換してください。

コード No. PS578 ケース用Oリング組

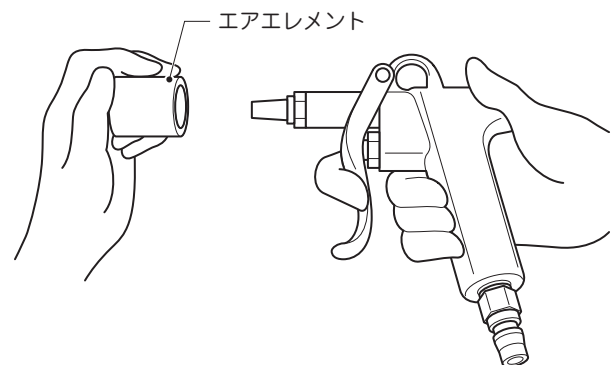
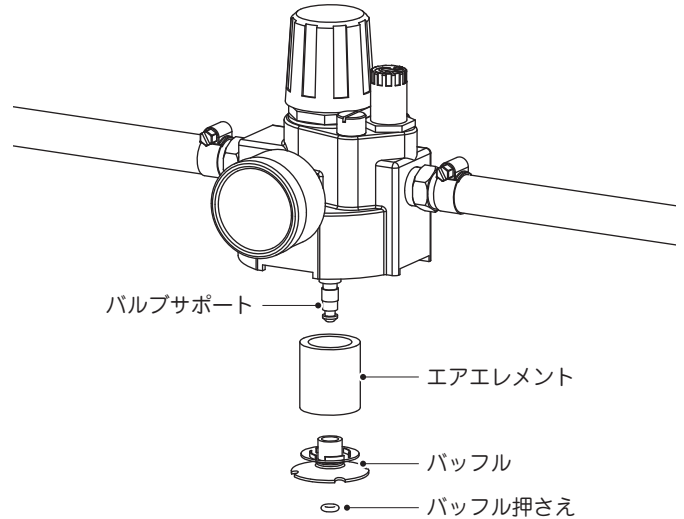


## エアエレメントの清掃

- エアフィルタの入口圧力と出口圧力との差が0.07MPa程度になりましたら、本機を分解してエアエレメントを洗浄してください。

- ① バッフル押さえをバルブサポートから外します。
- ② バッフルとエアエレメントを外します。
- ③ エアエレメントを清掃・洗浄します。
- ④ 洗浄後、エアエレメントを内側から外側に向けてエアブローします。

エアエレメントはひどい汚れでない限り、清掃・洗浄すると再使用が可能です。

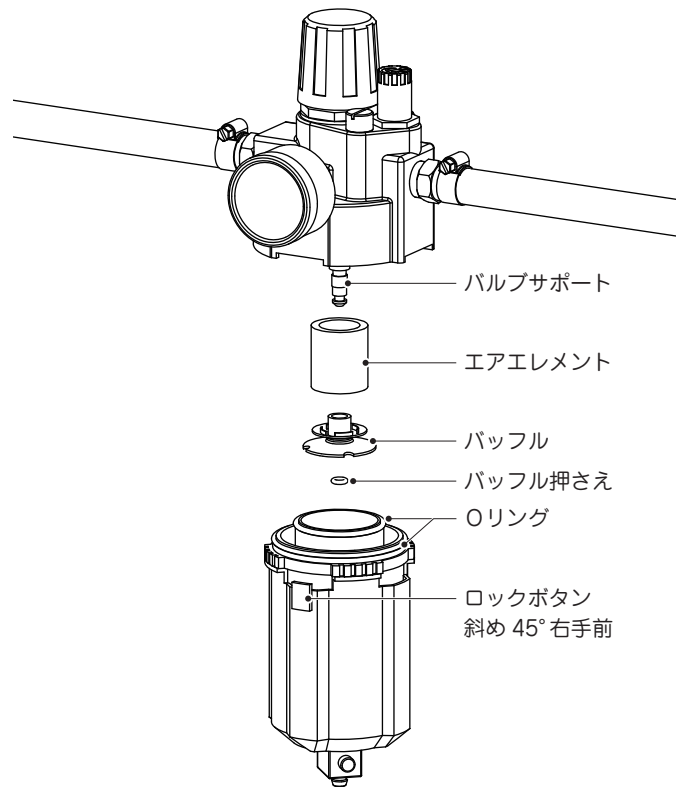




# PIPE SAW 400SA

## 組立

- ① バルブサポートに エアエレメント、パッフルの順番で組み立てます。
- ② バルブサポートの溝にパッフル押さえを入れてエアエレメント、パッフルを固定します。
- ③ ケースにOリングを載せ、ケース、ケースガードのロックボタンを斜め 45° 右手前にして本体に差し込みます。
- ④ 差し込んだ後、ケースガードを右に 45° 回して固定します。



### ⚠ 注意

- ◆ ケースガード、ケースなどは、合成樹脂の薄板製です。  
丁寧に取り扱いください。

# パイプソー 400SA

## 修理・サービスを依頼される前に

- 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。  
それでも解決されない場合は、お買い求めの販売店、または当社営業所にご相談ください。
- 正しくご使用いただかない場合や、本機の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

現象	原因	対策
力不足	エアコンプレッサの能力不足	15HP以上のエアコンプレッサを使用してください。
	エア圧力が低い	レギュレータのノブを回してエア圧力を0.5~0.7MPaに調整してください。
	エアモータからエア漏れ	弊社または修理工場にて修理してください。
	エアホースからエア漏れ	エアホースを交換してください。
のこ刃が折れる、ガタつく	のこ刃ホルダーの締め付けボルトの緩み	締め付けボルトを締め直してください。
	無理な力を入れて切断している	無理な力を入れず、ゆっくりと切断してください。
	チェーンバイスがゆるんでいる	チェーンバイスをしっかりと固定してください。
切断中に本機が止まる	エアコンプレッサの能力不足	15HP以上のエアコンプレッサを使用してください。
	エア圧力が低い	レギュレータのノブを回してエア圧力を0.5~0.7MPaに調整してください。
	のこ刃が磨耗している	のこ刃が磨耗していると切断できません。新品ののこ刃に交換してください。
斜め切断	のこ刃が磨耗している	のこ刃が磨耗していると斜めに切断されます。磨耗している場合は交換してください。
	チェーンバイスが傾いて固定されている	チェーンバイスと固定している管の間に異物が挟まっている場合は、異物を取り除いてください。
	無理な力を入れて切断している	無理な力を入れず、ゆっくりと切断してください。

# PIPE SAW 400SA

---

## ●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号：

購入年月日： 年 月 日

お買い求めの販売店

# Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60

TEL (052) 911-7165

E-mail: sales@asada.co.jp

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土日・祝日は除く)

支 店 / 東京・名古屋・大阪

営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜  
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社 (バン コ ク)  
台湾浅田股份有限公司 (台 北)  
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)

アサダ・インド社 (ムンバイ)  
上海浅田進出口有限公司 (上 海)  
アサダ USA (カリフォルニア州)

工 場

犬山工場 (愛知県・犬山市)  
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)  
アサダ・マシナリー社 (バン コ ク)

[www.asada.co.jp](http://www.asada.co.jp)